

1 新校の候補地：新校の候補地を検討する上での視点や条件について

- 市教育委員会では、再編後の新校の候補地について検討している。
- 検討に当たっての視点や条件は以下のとおり。

項目	視点や条件
敷地	<ul style="list-style-type: none">● 施設一体型の校舎が建設できるか● 新校開校時の児童生徒数に応じた校庭が確保できるか
通学の利便性	<ul style="list-style-type: none">● 徒歩通学や自転車通学が可能な児童生徒の割合● 地域公共交通などを活用できる可能性があるか
地域バランス	<ul style="list-style-type: none">● 通学区域内における児童生徒の居住分布
その他	<ul style="list-style-type: none">● 防災性（災害ハザードエリアに該当していないか）

2 学校施設：子どもたちの学習面及び生活面の観点から必要となる空間や機能について

01 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間において、紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていく姿

02 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間と隣接する多目的スペースとの連続性・一体性を確保し多様な学習活動へ柔軟に対応していく姿

06 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開



学校施設全体を学びの場として捉え、階段状の空間を、ステージやプロジェクタ等を備えた発表・表現の場としていく姿

07 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備



学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

3 新校開校に向けたスケジュールのイメージ：開校時期を平準化することについて

- 新校開校に向けたスケジュールは、下記に示すような案が考えられます
- 児童生徒数の減少により、教育活動に支障が生じている場合は、新校開校前に近隣校への編入を検討します
- 施設整備と併せて、校名、校歌、校章、通学方法、PTA活動等については、新校開校までの間に学校関係者の皆様と共に検討していきます

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
第1期	基本 構想※1	基本 設計※2	実施 設計※3	工事		★ 新校開校				
第2期			基本 構想	基本 設計	実施 設計	工事		★ 新校開校		
第3期					基本 構想	基本 設計	実施 設計	工事		★ 新校開校

※1 基本構想：学校の設計・工事を進める上での基本的な考え方や指針を示すもの。また、学校に求められる機能や概算工事費などを見積もる。

※2 基本設計：建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備、建物内外のデザインなどを基本設計図書としてまとめる。

※3 実施設計：基本設計図書に基づき、機能性、デザイン性及び技術面等多方面にわたっての詳細な設計、工事費の積算などを実施設計図書としてまとめる。